



なきごえ



1995

2



(撮影：中上 正幸)

- 2 — New Face エランドの赤ちゃん誕生(中上正幸)
- 3 — 動物と私 身近な友たち(易 信子)
カバーウォッチングリュウキュウイノシシ(森本委利)
- 4 — 身近な夜行性動物⑤ テン(細田徹治)
- 6 — 動物を病気から守る(吉本昌俊)
- 8 — グラフZOO ダンボールの動物展(早川 篤)
- 10 — 公園花だより⑬ 植物温室とベゴニア(仁田原 洋)
- 11 — ZOO DIARY

カバーウォッチング

リュウキュウイノシシ
ウシ目 イノシシ科

Sus riukiuanus

奄美大島・沖縄島・石垣島・西表島に生息するこのイノシシは、日本本土のニホンイノシシよりも原始的で、小型です。

12年前の亥年に来園したオスは2回目の亥年をむかえました。

(撮影：森本 委利)

||||| 動物と私 |||||

身近な友たち

人が自分の親しんできた自然を大切にしたいと思う出発点は、意外と単純なのかも知れません。私の場合、自宅の窓のすぐそばに巣を作ったヒヨドリとの出会いが始まりでした。巣材運びから抱卵、雛がかえってから交替でエサを運び、雨の日はずぶ濡れになりながらも雛を覆い、下を通る猫を威嚇し…。そんな一部始終を毎日観続けた後の巣立ちの日、1羽の雛だけ飛べず、雨の夜地面にとり残されたのです。それから2日間、親が運んでいたエサと同じようなミズズやカナブンや黒い実を早朝から探し回り、鳴くたびに与え、飛べるように一部屋を開放し、様子を見にきていた親鳥にやっと返したのです。以来、目の前をいくヒヨドリはすべて「親類」のように思っています。

ヒヨドリを近しく思うようになると、その周りに集うほかの鳥たちも見えるようになります。傍らを通り過ぎるだけだった自宅近くの森が、そんな鳥たちの大切な拠点だということも分かってきました。よく見るとそれまで風景としてみてきたその森には、ヤマガラやシジユウカラ、ウグイス、キジなど大小の鳥が往来し、夏の渡り



易 信子 さん

(島熊山の雑木林を守る会)

の時にはカッコウやツツドリがさえずり、ツグミやシロハラ、ルリビタキなどが一冬過ごしにやっけてきていたのです。雑木林があり、草原があり、水場があるこの森に、本当にたくさんの生き物たちが寄り添っていたことを知ったのでした。そして漠然と「自然っていいなあ」と思う気持ちから、「この生き物たちの住む自然を大切にしたい」と思うようになったのです。

「風景としての自然」は「多くの生き物たちを生かしている自然」でもあることを見つけた時、私たちは、たとえ姿かたちが異なっても共に生きる同じ命を大切にしたいと願うのではないのでしょうか。

会では、そんな多くの生き物たちの生活を大人も子供も一緒になって観察しようと、毎月1回「とよなが自然ウォッチング」を続けています。「大きいバツはあんまり跳ばないねえ」「キジバトの羽はこんなにきれいだったの」「ドンブリにも帽子のついてるのや細長いのや丸いのや小さいのや大きいのや、いろんな形があるんだなあ」いろいろな感想を持ってそれぞれが帰っていきます。こんな生き物たちとの触れあいがいくつもいくつも積み重ねられて、私たちの自然を大切に思う気持ちが育まれていくように思うのです。

地下鉄千里中央駅から北へ歩いて15分のところにある森、帯状に残された尾根筋は両側を住宅にはさまれ、かつての広大な丘陵の面影はありません。そんな森を切り所に、追いつめられながらも代々息つないできた鳥や虫や小動物達、彼らを身近な友としてこれからはずっと付き合っていけたらと願っています。

(えき のぶこ)

エランドの赤ちゃん誕生

昨年の12月1日にエランドのオスの赤ちゃんが生まれました。とても大きな赤ちゃんですが、母親に寄り添っている姿はあどけなくかわいいものです。



テンは漢字で「貂」と書きます。この名前の由来は、一説に、貂の中国音テウがなまったものであると言われています。テンの美しい姿を写真などで知っておられる方は多いと思いますが、イタチやタヌキなどとは異なり実際野外でこの動物を観察したり遭遇したことがある人は少ないと思います。ヨーロッパでは中世の頃から高価な毛皮のために乱獲され、中国では帽子の襟などに使われ、皮は水や雪にぬれずにすぐに乾くとして珍重されてきました。日本も例外ではなく人目にふれることが少ないために珍獣とされ、江戸時代にはその上質の毛皮は衣服などに用いるために商取り引きされていました。テンは、珍獣がゆえに昔から人間生活と密接な関係にあり、そのために多くの仲間の命が奪われてきたのです。しかし一部のハンターにその習性が知られてはいるものの、学問的には生物学的な分野においても、生態はおろか、分類の仕方にさえ未知の部分が多く残した実にふし



生後約2ヶ月目のスステンの子

ぎな獣なのです。

それでは、この不思議な動物テンを紹介しましょう。食肉類イタチ科テン属の動物を総称してテンと呼んでいます。北半球の森林地帯を中心に広く分布するテンの仲間には、ムナジロテン、マツテン、クロテン、ニホンテン、アメリカテン、キエリテン、フィッシャーの7種です。日本にはこのうちの2種が生息しています。シベリアに生息するクロテンの亜種で、北海道にだけ分布するエゾクロテンと北海道以外の日本列島に分布するニホンテンです。さらにニホンテンは本州、四国、九州(種子島・屋久島以南を除く)に分布するホンデンと長崎県対馬にだけ生息するツシマテンおよび朝鮮半島で

記録されているコウライキテンの3亜種に分類されています。さらにホンデンには黄色型と茶色型の2つの色の型(色相)があります。コウライキテンは韓国南部の忠清南道というところで1920年と1921年に1頭ずつ捕獲された記録があるだけでその後の記録はありません。現在その標本がどこにあるのかもわかりません。また、エゾクロテンの生息する北海道の特に道南地方には、本種以外に人為移入されたと思われるニホンテンが生息しています。北海道のエゾクロテンは保護獣として、対馬のツシマテンは国指定の天然記念物として狩猟が禁止されています。

かつてホンデンは、その毛色の違いからキテンとスステンの2亜種に分けられたことがありますが、現在は両者の違いは同一亜種内の変異であるとされています。しかし、その論拠は必



雪上を走るスステンの成獣(撮影:大島和男)

ずしも明らかではありません。テンは年2回換毛し、夏毛と冬毛で体の色がはっきりと異なるのが特徴です。キテンの冬毛は、体全体がオレンジ色の毛でつまれ、頭部は白色、目や鼻の周囲および足の下部が黒褐色または黒色の毛でおおわれています。夏毛は頭と体が褐色、顔と足先はほとんど黒色になり、喉から前胸部にかけてのみオレンジ色が残り、尾の先端部数cmだけが白色になります。スステンの冬毛はキテンの夏毛に似ていますが、正確にはかなり異なります。夏毛は喉のオレンジ色と尾の先端部が白色、それ以外の体全体が、より光沢を帯びた黒褐色になるだけで、キテンに見られるような大きな変化はありません。ツシマテンも基本的にはスステンのそれと大差があ



雪上を歩くキテンの成獣(撮影:大島和男)

りません。キテンは本州と九州の全域に分布し、北の地方のものほど鮮やかなオレンジまたはレモンイエローの個体が多くみられるようになります。大阪府豊能郡豊能町の人里近くで動物写真家の大島和男さんが撮影した個体は、黄土色に近いキテンでありスステンのそれとは全く異なるものでした。これとは別に箕面の山中でスステンが確認されています。今、天王寺動物園では広島産のテン2頭が飼育されています。果たしてこれらは上記のどの色相でしょうか。よく観察してみてください。

私は数年前に全国の狩猟者を対象に聞き取り調査と現地調査を行いました。その結果、一年を通してほとんど毛色が変わらないスステンは、紀伊半島南部と四国に集中して分布し、特に和歌山、奈良両県では、キテンが見られる確率は1%に満たないということがわかりました。キテンの分布域でスステンが見られるという報告もよく聞いてみると、キテンの色あせたものであり、人によってはドロテンといわれているものであることもわかりました。このような色相は長野県以西の地域から報告されています。そして、1905年にトーマスによってニホンテンのもう一つの亜種として報告された個体は奈良県鷲ヶ口で捕獲されたものであり、その時の記載内容を照合するとスステンの特徴とよく一致します。ところが長崎県対馬に分布するツシマテンもこの記載内容とほぼ同じ色相をもつテンなのです。しかしこの遠く離れた3地域で、しかもキテン分布域を間にはさむようにしてスステン様色相をもつテンが分布しているという事実をいったいどのように理解したらよいのでしょうか。一方、北海道にすむエゾクロテンは、クロテンといっても大陸の個体のような黒さはありません。それどころか、全身がレモンイエローの毛でおおわれたものさえあります。この個体は一見ただけではキテンとほとんど区別がつかないほどよく似ていますが、尾の先端が黒褐色であるところがクロテンらしさをわずかに残しているといえるでしょう。

これまでの分類は、表現型(形態や色)の違いを根拠に行ってきました。しかしテンのように個体変異の大きな動物は特に混乱の原因になります。そこで、私達のグループは違った角度(ミトコンドリアDNA・リボソームDNAなどの分子遺伝学的な研究)からこれまでの分類を見直し、種間の類縁関係を明らかにし、さらには現在日本に分布するテンはいつ、どのようなルートで入ってきたのかを知りたくて研究を進めています。その結果、キテンとスステンには遺伝的に大きな差がなく、違う亜種とする根拠がないということがわかりました。しかし、なぜ一部の地域に限って毛色の違うテンが生息しているのでしょうか。疑問が深まるばかりです。

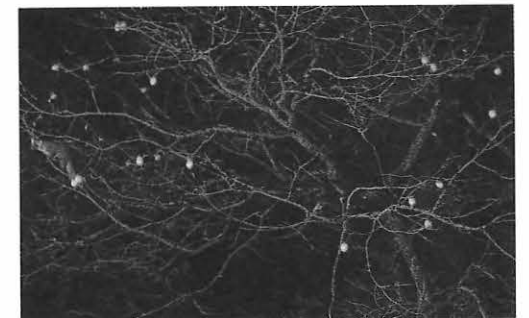
たとえばノウサギの毛は、降雪地域では冬には白くなり、そうでないところでは茶色のままであるが、これは環境的なものが原因しているとされています。これに対しスステンの分布はもっと限

られており、環境の差ではどうも説明がつかず、何か遺伝的な要因があるように思います。もしそうだとすれば、日本列島が大陸から完全に分離した最終氷期以降に、毛を黄色くする遺伝子がニホンテンに広がり、何らかの原因で紀伊半島、四国、および対馬のテンは孤立状態におかれたまま現在に至っているのではないのでしょうか。

また、現在亜種関係にあるホンデンとツシマテン間およびクロテンとエゾクロテン間においては遺伝的な差がほとんどなく、別種とされているニホンテンとエゾクロテン間の遺伝距離はわずかに0.15%であり、十数万年前にイタチとイイズナが分かれたのとはほぼ同時期に共通祖先から分岐したものであると思います。また、ニホンテンと中国産のキエリテン間の遺伝距離は1.4%と大きく、約200万年前にイタチとオコジョが分かれたのと同じ頃に分岐し、イタチ属とテン属の分岐は、タヌキとキツネが分かれたのとはほぼ同時期の約500万年前であることがわかりました。

これらのことからコウライキテンが本当にニホンテンの亜種であるとするならば、シベリアからサハリンなどを經由して北海道に入ったテンは次第に南下し、朝鮮半島に渡ったが、体重が2~3倍もあるキエリテンにその進路をはばまれ北上出来ないままに、最終氷期をむかえてそれぞれ孤立してしまっただけで済んだのでしょうか。

今回生態的なことには全くふれませんでした。テンは樹上空間を積極的に利用する動物であり、開けた地域よりも自然林のある森林を生息地として好みます。そこでは多様性の高い食物資源を期待できるからです。しかし、スギ・ヒノキの大規模な人工造林地は樹上空間が豊富にあるといってもテンにとっては大変に住みにくい森林なのです。最近、毛皮人気低下し、狩猟統計



深夜に柿を食べに現れたスステン

ではイタチは年間約4000頭しか報告がなく40年前の30分の1にまで激減していますが、テンのそれは多少の変動があれば8000頭を維持しています。つまりテンは今でも珍獣であり、本種の毛皮人気低下してないだけでなく、もともとイタチに比べて生息個体数がかかるに少ないことを意味しているのではないのでしょうか。

(ほそだ てつじ)

動物を病気から守る

(動物病院からの報告)

動 物園に来られた皆さんは、愛らしい、愉快な、微笑ましい動物を見て満足していただいていることと思いますが、病気になった動物を見たことがあるでしょうか。きっとほとんどの人はご覧になったことがないと思います。

実は、私も動物園の職員は動物の健康を守るため、日々、頑張っています。健康維持のために、毎日の餌に気を配り、日頃からの観察を怠らず、病気を予防し、不幸にして病気になれば治療するなど努力を重ねています。

それを行う施設の一つに動物病院があります。この動物病院は皆さんが入ることができない所にあるのでその存在を知らない人もいらっしゃるでしょう。今回はこの動物病院を中心に、動物園の職員が動物の健康維持のためにどのように頑張っているかを紹介しましょう。



動物病院

飼 育担当者の仕事はただ漠然と餌を与え掃除をして一日が終わるという簡単なものではありません。毎日、欠かさずちょっとした異常をも見逃さないように注意しています。

何を最もよく好み、何をよく残すか、どの位の量を食べたかなどを観察し記録することが後日、異常の発見や投薬のときに役立ちます。

掃除の時も、健康なときの糞の形、量、色、異物等に注意しています。このような細かい観察を通して動物の健康状態がわかりますし、もし、寄生虫が見つければ動物病院で調べ、適切な駆虫をします。糞に血液が混じっていれば消化管の病気を疑うということになります。

さらに、重要なことは動物が展示場に出ている時の観察です。次第に痩せてきた、急に太ってきた、毛艶はどうか、歩きかたがなんとなくおかしい、真夏の陽の当たる所でなぜ座り込んでいるかなど実に細かく観察を行います。ケガをすれば直ちに獣医師へ連絡し、治療します。また、ケガの原因を取り除くことも考えなければなりません。

そのためには、日頃から動物同士の相性はどうか、動物を展示場へ出す前にケガをするようなものがないかなどを観察することも重要な確認事項です。

動 物の健康異常を発見したら治療を開始します。その方法は人の医学の技術を獣医学に導入しているものが多く、外科、内科、産婦人科、小児科などなんでもありますが、対象が野生動物という点が特殊です。つまり、どんなに動物園で飼育されていても野生動物は人に対する警戒心を常に持っており、本能的に爪や牙などで身を守ろうとします。小さな動物では力で押さえ込んで治療することもできますが、正確にかつ安全に、細部まで診療するためにはどうしても麻酔をする必要があります。



ライオンを麻酔して胃カメラ検査

麻 酔といってもこの作業は野生動物の場合には簡単にはできません。動物は人の患者のようにおとなしく注射を受けたり吸入麻酔をさせてはくれません。麻酔薬の量を決めるために知りたい体重さえ計らせてくれません。そこで過去の記録や他の動物の体重を参考にします。

さて、注射は吹き矢や麻酔銃を使って行います。ところが動物は敏感に異様な雰囲気を感じとり、なかなか吹き矢や麻酔銃の射程圏内に来てくれません。そんな時は、飼育担当者と獣医師とが連携プレーをとりまわります。担当者の前では動物は安心していきますからこのスキをねらって動物に静かに近づいたり、飼育担当者が隠れている獣医師の近くへ動物を誘導したりして吹き矢や麻酔銃で注射するわけです。ここで注意しなければならないのは担当者と動物の信頼関係を失わないようにすることです。

例えば、チンパンジーの健康診断を定期的に行っていますが、レントゲン撮影や採血、口腔内検査をするためには麻酔をしなければなりません。しかし彼らは何度も検査を受けているので、獣医師の顔を見ただけで、これから自身に降りかかる



チンパンジーの定期検診での採血

事態をいち早く察し、寝室内を逃げまわったりして吹き矢を打つチャンスを与えてくれません。あげくのはは糞を投げつけて、獣医師は糞まみれになったこともありまわりました。そこでチンパンジーにとって信頼のおける担当者が、麻酔作業に取りかかる前に精神安定剤を混ぜた大好物の餌を与え、行動を鈍くするのです。その後、担当者はチンパンジーの前から消え、痛む目をさせる獣医師が吹き矢を打ちます。担当者が再びチンパンジーの前に現れるのは、すべてが終了し、麻酔が醒め、意識が戻り始めた頃からで、怖い目にあつたチンパンジーの慰め役になるのです。

検 査や治療が長びくと稀に麻酔が醒め始めることがあります。このような場合は慌てることなく追加麻酔を行います。メスのオランウータンの検査をしている時、顔を起こしかけたことがありましたが、追加麻酔を行って検査を続行しました。これは、野生動物の場合は必ず、追加麻酔が直ちにできる準備体制を整えて実行しなければならない例です。

また、麻酔が効いたトラが頭部をフラフラと持上げたことがありました。このトラは当園で生れたトラで、成長し他の動物園へ出すことになり、寝室から移動檻へ移すために麻酔をかけたのです。ところが、事前に体重測定ができなかったため、麻酔薬の必要量をあやまった例でした。この時は結局、追加麻酔を2回行いました。体重を100kgと推定したものが、麻酔後、実際に測定してみると134kgもありました。

麻酔は、このように治療や検査、動物搬出の時のほかに、園内で動物を移し変える時にも行うなど動物園では必要不可欠な作業なのです。さらに大変なことは、飼育している動物の種類が両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類と多種多様であることです。種類によって麻酔の効果が異なりますので、薬の種類、量、方法、などを日頃から検討しておかなければなりません。また、麻酔経験のない動物もありますから、他の動物園と情報交換を行ったり、研究を重ねておくことも必要です。

麻酔は、薬量が多過ぎると死亡する危険が伴い、また少な過ぎると人側に危険が及びます。治療や検査、移動をスムーズに行うためには安定した麻酔状態を如何に維持するかにかかっています。

さ て、手術をする場合、担ぎ込むことができない大動物以外は動物病院で行います。その方法は基本的には人の医学と同じです。ただ、

人の患者は治るまでおとなしくしていますが、動物は少しもじっとしていませんので、それなりの工夫が要求されます。例えば開腹手術のあと、紙めたり咬んだりしてせっかく縫合した糸を取ってしまうことがあります。そこでステンレス製のワイヤーを使用したり、プラスチック製バケツの底に穴をあけ、頭にかぶせて、口が手術した傷に届かないような工夫をしたりします。

治療が終われば、完全に治るまで動物病院の入院室で療養させます。療養中は、人の場合は退屈なものなのですが、動物の場合は、見慣れないところに入れられますから不安でたまらないはず。そこで、担当者は室内が見えないようにシートを張ったり、中を薄暗くしたり、隠れ場所を作ってゆったりして少しでも不安を取り除き、できるだけ動物を落ち着かせる工夫をします。あとは、しっかりと餌を与え、病状に合せた栄養補給管理を行って体力をつけさせます。また、動物の衛生環境はどうしても悪くなりがちで、患部の細菌汚染を起しやすく、頻繁に消毒したり、抗生物質など抗菌剤の注射や服用が不可欠です。

このほかに動物病院の業務として、検疫があります。新しく動物が動物園へ来た場合、まず動物病院の検疫室に収容し、動物を落ち着かせ、健康であることを確認してから展示します。例えば、検便でもし寄生虫卵を検出したら、駆虫をすませてから展示します。



キジのワクチン接種

また、病気にならないように予防接種も行います。例えば、キジ類は死亡率の高いニューカッスル病というウイルス病にかかりやすく、ハトやスズメがこの病原を持っていることがありますので、定期的にワクチン接種を行っています。

以 上、述べましたように、動物病院は動物の健康を守るための重要な施設であることをご理解いただけたでしょうか。

動物たちにとっては、自分の匂いがあり仲間がいる動物舎が一番安心できる場所ですから、できるだけ早く退院させるようにしています。

そして、入園者の皆さんに親しまれている愛らしい、愉快な、微笑ましい動物たちを、健康で、できるだけ長生きさせようとして今後も一層の努力をしなければならぬと考えています。

(飼育課：吉本 昌俊)



グラフZOO ダンボールの動物展

ダンボールの動物展

「ダンボールの動物展」は、環境学習の場として動物園を利用していただくための試みとして企画しました。何より大切なことは、動物をよく観察することです。何をどう見ればよいのかを問題にしました。動物園は楽しい場所です。でも楽しいだけではなく自然科学を学習する場所でもあります。そして、多くの野生動物や自然保護に役立つ日が来ればいいなあと思っています。さあ、皆さんも考えてください。答がわからなければ、動物園に来てください。

(撮影：早川 薫)

(この展示は園内の展示室で昨年の11月19日から12月28日まで実施しました。)

あつ!! シマウマがトラにやられる!!

でも、これってどこか変ですね。



これは難しかったようですね。



鳴くと思う? じゃ、どんな声だ?

今年のエトのイノシシの親子は?



ニセ者がいるか 注意!!

皆様ようこそ、さあ、いきなり問題です。ニホンザルの尾っぽはどんなだった?

ニホンザルのしっぽって意外と知らない人が多いんですよ。

アシカの耳って、あつたかな?



答えがわからなければ、実物の動物とよく観察してこらん。さ、と動物たちに考えてくれるよ。

わからなければ動物園で答を見つけよう!

公園花だより 13

植物温室とベゴニア

天王寺公園の代表的な施設には日本庭園の慶沢園と植物温室があります。植物温室では熱帯、亜熱帯の植物が葉を茂らせ、色鮮やかな花が色を添えて南国の雰囲気を楽しめます。この温室は昭和62年に公園と動物園を会場に開催された天王寺博覧会のテーマ館として建てられた建物を利用して造られたもので、平成元年から公開しています。展示室(総面積617㎡)の内、主展示室(450㎡)では観葉植物類、地植え、鉢物合わせて53科116種を展示しています。ベゴニア室(67㎡)では、1年中ベゴニアを楽しむことができます。小展示室(33㎡)では、ファレノプシス(胡蝶蘭)、デンファレ、デンドロビウムなど、季節の草花や観葉植物類が咲き競い、ラン室(67㎡)では、洋ラン類のカトレア、ファレノプシス、バンダ、シンビジウムと



ベゴニア室全景

観葉植物類を飾り付けています。

今回はベゴニア室で展示しているベゴニアについてお話ししましょう。本園では、平成元年の温室完成と合わせ球根ベゴニアの栽培を始め、1年中見られるように開花させ展示をしています。球根ベゴニアはアンデス山系原産の球根性ベゴニアを1868年頃からヨーロッパにおいて複雑な交配を行ない、いろいろな品種が作り出され、現在に至っています。花の咲き方は直立型と懸垂型2種類があります。花の色は、クリムソン、スカーレット、オレンジスカーレット、ホワイト、ピンク、ローズ、イエロー、サーモン、アプリコットの9色で、連続的に変化するのでさらに多くに区分することもあります。覆輪となるピコティー(picotee)は、花卉の中央の色が薄く花卉周辺が濃い色となるのが基本で中央が白、周辺が赤、桃色となるものをそれぞれピコティー・ホワイト、レッド・ピコティー、ピンク・ピコティーなどと呼びます。その他、中央が黄色(イエロー)、アプリコット、サーモンなどに周辺が赤、桃となるものもあります。最近完全なピコティーでない中央が桃色で周辺に白が出る覆輪が生れるきざしがあります。本

園で栽培している品種は、ローズフォーム(rose form)、ピンク、オレンジ、レッド系、ラッフルドフォーム・ピコティー(ruffled form picotee)ピンク、レッド、ダブルローズフォーム(double rose form)(純粋のバラ咲き種)、ホワイト、ピンク、ローズ、などです。

建物は鉄筋のガラス張り温室の外側に遮光枠を設けてダイオネット(遮光ネット)で遮光をしています。東向きのため午前中は光が入りますが昼以降は日光が入りません。曇りの日や雨の時には光線不足となるので1日14時間以上必要とされている日照時間を確保するために人工照明を設置しています。最適栽培照度の2~4万ルクスになるように照度を調節しています。最適栽培温度は15~25℃ですので、栽培温室、展示温室共に20℃になるように夏場は冷房、冬場は暖房し、温度管理しています。湿度は60%~70%程度が最適のようです。40%以下になると花卉の周囲が枯れやすくなりたまたまダニなど害虫の発生が多くなります。80%以上の湿度が長く続くと灰色カビ病などの病気の発生が多くなります。



カーネーション

灌水は鉢土の表面が乾いたらたっぷり水やりしていますが、ノズルを取りつけ土が跳ね上がらないように注意しながら行なっています。日常の管理(手入れ)は、スタンド・タイプの品種は支柱が必要で支柱は花の咲く方向の背後に立てクイックタイやピニールひもなどで止めます。花は南に向かって咲くので鉢の置く方向に注意するようにしています。大輪系の花は、側面に出る雄花や雌花を早めに摘み取ると中央の雄花が大きく咲きます。又花卉の周辺が汚れてきたらすぐに取り除き枯れ葉や病斑の入った葉や腐りかけた葉もすぐに取り除くようにしています。



カメリア(ピンク)

皆さんも、天王寺公園を訪れた際には、美しい花を咲かせている、植物温室のベゴニアをお楽しみ下さい。

(管理課: 仁田原 洋)

- 12/1. エランドが1頭生まれました。
- 12/2. ホシハジロを1羽保護しました。
- 12/3. 昨年ふ化したオシドリ20羽を東京都井の頭自然文化園に贈りました。第3回ZOOセミナーで「飼育下のニホンザル」の話をしました。
- 12/6. 昨年ふ化したタンチョウ2羽とカナダヅルの性別を染色体で判定するため、皮膚の一部と血液を採取しました。

12月7日 ノスリの若鳥を1羽保護しました。

ノスリはタカの仲間、トビよりひとまわり小さく、尾翼の形がトビではV字に切れ込んでいますが、ノスリは扇形をしています。外傷はありませんので冬になり餌をうまく捕まえることができず、衰弱したものと思われる。



- 12/9. オランウータンのメスの「サツキ」が発情期を迎えたので、オスの「ブル」と同居させました。

12月12日 滋賀県立琵琶湖文化館からブラックバス80匹とブルーギル70匹をいただきました。

今春にオープン予定の新爬虫類館で展示する予定です。



- 12/13. 寄生虫予防のためグラントシマウマに投薬しました。

12月15日 新爬虫類館で展示予定のトウブハコガメがビタミン欠乏が原因で起るハーダー氏腺炎という眼の病気になるので治療を始めました。



- 12/16. ヤギの三つ子が生まれました。
- 12/17. エミューが今季最初の卵を産みました。
- 12/18. 寄生虫予防のためチンパンジーに投薬しました。
- 12/19. 今年ふ化したアカコンゴウインコのヒナ2羽が大きくなり、完全に自力で採餌できるようになったため両親から分離しました。

12月21日 レッサーパンダのオスが入園しました。当園のオスが死亡したため、岡山

今月もおもしろ情報満載

ZOO DIARY

県の池田動物園からフリーディングローン(繁殖のための貸借)で借り受けたものです。検査終了後見合いを行い、メス2頭と同居させる予定です。



2つがいのフンボルトペンギンがそれぞれ卵を1個産みました。

12月21日 正月準備の一環で、干支(えと)の亥(イノシシ)にちなんで、リュウキュウイノシシの動物舎の前にしめ縄を飾りました。



続いて入止め柵のペンキ塗りや門松の飾り付けも行い、お正月を迎える準備が整いました。

- 12/22. 姫路市立水族館から5頭のイシガメをいただきました。今春にオープン予定の新爬虫類館に展示する予定です。

- 12/24. ユリカモメを1羽保護しました。
- 12/27. ドバトを1羽保護しました。
- 12/30. 12月21日に入園したオスのレッサーパンダの検査が終了したので、メスとの見合いを始めました。

■お知らせ■

- 桜まつり
期間: 3月19日(日)~4月2日(日)
- 動物園 おじさんのお話「バードウォッチング」
日時: 3月19日(日)午後1時~
場所: 鳥の楽園
2月19日実施予定でしたが都合により変更となりました。

訂正します
12月号「身近な夜行性動物④イタチ」(5ページ)左下の「川の護岸壁を駆け上がるイタチのファミリー」の写真が天地逆になっていました。また、左側下から3~4行目「営巣」は「営巢」の誤りでした。

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑 一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価680円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間とは？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価680円

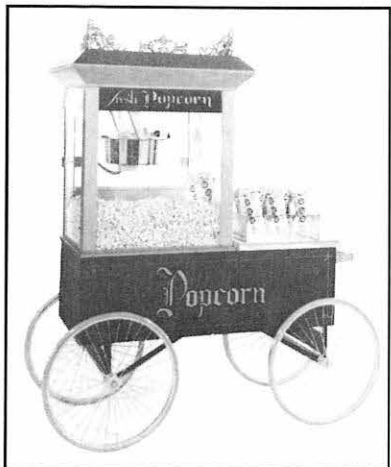
むしくらしか いかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきもの くらしか いかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06) 865-0165

新・きれいな色 FUJICOLOR SUPER G ACE 400



カマラの大林
桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031

動物の生態を描く唯一の文学雑誌

動物文学

昭和九年平岩米吉によって創刊

本誌は生態研究を基礎として動物文献を収集整理する
とともに、シートン、ザルテン、バイコフ等の諸作家
を紹介した本邦動物文学の母胎です。

〈研究・考証・記録・随筆・翻訳等を掲載〉
会費/年1,500円(切手72円・呈既刊号目次)

動物文学会

〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話03(3717)1659・振替・東京5-9800

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……

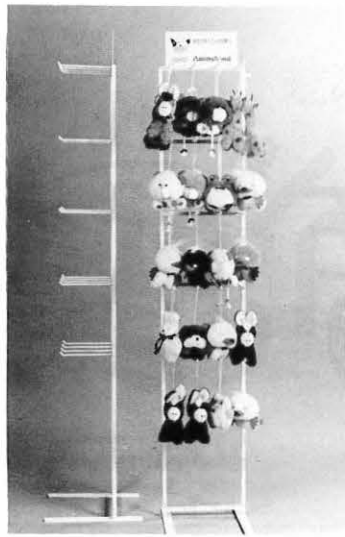


オールカラー

500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

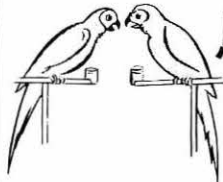


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

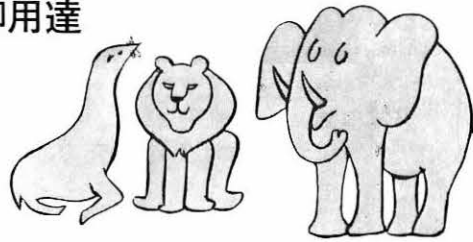
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06)704-8580
FAX: (06)704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヵ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での
お食事、
ご休憩は



動物園内.....

中央売店

TEL 06-771-0973

お食事・飲もの・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110



思いやり、ほんの少し、コアラのために。



多くの思いやりが、ひとつになって、オーストラリア・コアラ基金を応援します。

多くの人に支えられて育ってきたコアラのマーチ。

一方、コアラのふるさとオーストラリアでは、シドニー近郊の山火事などにより、コアラたちの安住の地が年々少なくなっています。

そこで、ロッテでは、コアラのマーチ誕生10年を記念するキャンペーンを実施するとともに、

コアラを取りまく環境を守ろうと、オーストラリア・コアラ基金(1986年設立)のゴールドスポンサーになりました。

コアラのマーチを支えてくれる皆様の思いやりがひとつになって、オーストラリア・コアラ基金を応援いたします。

LOTTE



Our yogurt has fruity
and rich texture!!

“生イキヨーグル”と
覚えてね。



新発売

いほりたてミルクのおいさが、生きている。

雪印
ヨーグル

希望小売価格 130g/各120円 250g/各220円(税別)



HJIRI-KOJIMA

一日
愉快地
たのしめる!!



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ

1995年2月10日発行(毎月10日発行)第31巻 第2号 (通巻354号)

編集/大阪市天王寺動物園事務所

発行人/大阪市天王寺動物園協会 土井良彦

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06)771-0201

振替口座 00930-2-37823

編集委員

(中山良三郎/岩倉善樹/増野悦敏/樽本 勲/中川哲男/山根和弘/吉本昌俊/谷森 進/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭)
森本委利/中上正幸/堀内智生/小林崇宏/竹田正人/大野尊信/野口秀高/早川 篤/土谷正道/村上勇一/仁田原洋)